

## ◎ 特別企画 ～在校生に聞いてみた！～ ◎

現在稚高の受験を考えている中学生の皆様にも、本校1、2年生の各科に所属している在校生から稚高はこんなところ、こんな良いところがあるよというのを2年生にはインタビュー形式で、1年生は座談会を設けて、現在の稚高の現状を教えてくださいました！



まずは普通科と商業科を代表して

普通科2年生 村上 結菜 (むらかみ ゆいな) さん

商業科2年生 本田 凜 (ほんだ りん) さん

からお話を聞きました。本校の各学科を代表してインタビューを引き受けてくださりありがとうございました。

### Q1 稚内高校の特徴といえばなんでしょう？

**村上**：普通科と商業科と衛生看護科の3つの科があって、それぞれ自分の進路に応じて選べるのが特徴だと思います。

**本田**：学科が分かれているし、普通科と商業科が単位制で、本当に自分の目標だったり興味関心で自分に合った学習をすることが特徴だなと思います。

### Q2：稚内高校のいいところはどこですか？

**村上**：玄関の隣に自動販売機があって、冬にあたたかい飲み物が買えるというところがいいところだと思います。

**本田**：生徒全員が明るくて素直なので、過ごしやすい環境があるっていうことが1つと、あとは部活動だったり行事だったり充実しているので、毎日楽しい学校生活が送れています。

### Q3：稚内高校のここがすごいというところは？

**村上**：やっぱり、先生がめちゃくちゃ多いんですけど、全員おもしろい先生で、ジャグリングできる先生もいるし、ジョークがめちゃ多い先生もいるし、なんかすごい熱血な先生もいるし、適当に見えて授業がすごい先生もいるし、そういう先生まで十人十色なことが稚内高校のすごいところだと思いますね。

**本田**：そうですね・・・よく外部の方をお招きして講話だったり、ガイダンスをしていただく機会があったんですけど、そうやってこう外部の方の貴重な話であったり、為になる話を聞ける機会だったりが多いというのが、すごい事だと思いますし、為になりますし、将来にこれがいいんじゃないかあれがいいんじゃないかというのがすごく考えやすくなるんじゃないかと思いますね。



**Q4：稚内高校に入学して1番うれしかったことは？**

**村上：**英語の模試とか定期考査で1位を取れたことで、中学校の時も取れてるときは取れていたんですけど、高校は進学したいとか、そういう人がくるところなので、志がある人達が集う中で、勉強面で1位を取れたことがあるというのは嬉しかったなと思います。

**本田：**最近の話で、ビジネス計算実務検定の1級を合格したということが本当に嬉しかったですし、資格で1級をとれたということが、今まで頑張ってきて良かったですし、報われたような気がしますし、しっかり身になっているんだなというのと、モチベーションも上がって、嬉しかったです。

**Q5：普通科・商業科に入学しようと思ったきっかけはなんですか？**



**村上：**普通科は、進路実績が稚内高校はたくさんあるのと、あと大学に入学したくて、単位制だからどんな感じなのかというのも勉強になるし、普通に友達が結構稚高に通ってて、そこに便乗してというのもありました。(笑)

**本田：**元々、高校卒業したら就職しようかなってというのが1つあって、そうなるとう普通科に入学して勉強していくよりも、一足先にビジネスの知識や技術を身につけた方が、社会に出るときに貢献できるかなと思ったことがきっかけです。

**Q6：入学してみて1年半経ちますが、ここが一番身についたってところは？**

**村上：**個人的には、数学マラソンという、毎週テストがあって、テストが多いんですよ。普通科って、また私自身高校で初めて部活動に入って、生徒会にも入ってて、習い事も続けてて、勉強との両立の仕方を学べたので、計画的に行動する力が身についたかなと感じています。

**本田：**マナーが一番身についたと思います。商業科特有かもしれませんが、教室の出入りの仕方であったり、あいさつや人との接し方だったり、気配りだったりなど世の中でみれば当たり前のことなんですけども、当たり前のことを当たり前に行えるようになったことが商業科に入って身についたことだなと思っています。

**Q7：すばり、普通科、商業科の良いところとは？**

**村上：**就職、専門、大学進学など色んな将来の夢を持った人がそれぞれやりたいことができるというのが普通科の良いところだと思います。それを尊重してくれる先生方もいるから、普通科は選択肢がたくさんあっていいかなと思っています。

**本田：**商業科は、普段の勉強が資格取得の勉強として繋がるということです。資格取得となったら、普段の勉強とは別枠で勉強をしないといけないと思うのですが、商業科の授業は資格取得に向けて頑張っているの、授業をしっかり受けていれば、成績はもちろん資格も取得できるという一石二鳥ですよ。

**Q8：普通科・商業科に入学を考えている中学生に最後一言お願いします。**

**村上：**普通科では、自分のやりたいこと、将来を応援してくれる先生と仲間がたくさんいます。学祭など色んな行事も楽しいので、稚内高校で3年間青春を楽しみませんか？皆さんの入学をお待ちしています。

**本田：**商業科では、マナーから、専門的な知識・技術がしっかり身につきますし、資格を沢山取っていけば、就職はもちろん進学にも絶対的に有利になると思いますし、商業科に入ってしっかり勉強していけば、将来がすごく華やかになると個人的に思います。商業科にたくさんの仲間が増えることを心から楽しみにしています。



インタビューに答えてくださったお二方、ありがとうございました。2人は幼稚園からの同級生ということもあってか、インタビュー中も稚高の特徴や科の情報交換などして、本当に真面目なお二方でした。ご協力ありがとうございました。

続いては衛生看護科を代表として

衛生看護科2年生 鈴木 はづき（すすき はづき）さんからお話を聞きました。

Q1：稚内高校の特徴といえばなんでしょう？

鈴木：特徴はですね、衛生看護科と商業科と普通科があり、いろんな夢を持って入学してきている人が多いことです。もちろんこれから進路を考える人も多いと思います。

Q2：稚内高校の良いところは？

鈴木：他のクラスの関わりとか学年を超えた関わりが少なく思われがちなんですが、学校祭とか体育祭では多くの人と関わる機会が多いと思います。

Q3：稚内高校に来て一番楽しいことは？

鈴木：私は友人と話をしている時間が一番楽しいです

Q4：稚内高校のお気に入りの場所はどこですか？

鈴木：私は教室が一番好きです。

Q5：なぜ教室が一番好きですか？

鈴木：新しい友人と話す時間が多くあるのでそのような時間が一番楽しいと思うからです。

Q6：稚内高校に来て一番うれしかったことは？

鈴木：2年生で行った看護実習なんですけど、初めて入所者の方に「ありがとう」と言われたときが一番嬉しかったです。

Q7：その「ありがとう」はどんなときに言われましたか？

鈴木：歩行介助と一緒に歩いたり、入浴介助をしてそのときに「ありがとう」や「気持ちよかったよ」と言われたときが一番嬉しかったです。

Q8：介助のコツなどはありますか？

鈴木：患者さんに不快な気持ちにさせないようにということを大事にしていました。他にも、どれだけ早く安全に行うことが結構重要になってくると思います。



Q9：衛生看護科に入学しようと思ったきっかけはなんですか？

鈴木：中学校の時に専攻科の人たちと関わる機会があり、その時に看護に対する興味とか、衛生看護科の人とか専攻科の人たちの憧れをもったことが大きかったです。



**Q9：衛生看護科に入学して身についたことは何ですか？**

**鈴木：**看護と知識はもちろんですが、人との関わりや考査の暗記力、技術面では効率性が身についたと思います。

**Q10：効率性とはたとえば？**

**鈴木：**ベッドメイキングなどを最初にやったんですけど、どれだけ早くできるかが鍵になってくるので効率的に何かをやるのが身についたかなと思います。

**Q11：すばり、衛生看護科の良いところは？**

**鈴木：**人数が少ないのは短所でもあるが、その分賑やかで学年問わず関わりがあることが良いところだと思います。

**Q12：同じ夢を持つ人同士が教室にいることで一緒に頑張ろうとか団結力が高まりますか？**

**鈴木：**はい、あります。考査はやはり大変なので、同じ方向を向いているので一緒に頑張れるところがあると思うのでそのようなときに感じます。

**Q13：衛生看護科に入学を考えている中学生に一言お願いします。**

**鈴木：**看護科では覚える課題も多いですが、全員で乗り越えたときの大変だったという気持ちよりも「頑張った」「良かった」などの達成感の方が大きいと思います。また、衛生看護科は全員1からのスタートなのであまり不安を感じずに入学を考えてほしいなと思います。



インタビュー中は常にはきはきと明るく答える姿が印象的でした。これも衛生看護科に入学して1年半培ってきた力なのだなと感じました。鈴木さん、ご協力ありがとうございました。

最後は、今年入学してきた各科の1年生3人に座談会を設けて稚高について語ってくれました。

普通科1年生 金谷 麗羅 (かなや れいら) さん

商業科1年生 和田 優斗 (わだ ゆうと) さん

衛生看護科1年生 浅岡 凜 (あさおか りん) さん

の3人の座談会の様子をご覧ください。



堤：入学してからそろそろ1年が経とうとしていますが学校には慣れましたか？

金谷・和田・浅岡：はい！慣れました！

堤：稚内高校に入学して1番楽しいと思うことは？

浅岡：私はお弁当の時間です。他にも色々楽しいことはあるんですけど、中学の時コロナウイルスの影響で、あまり友達と一緒に給食を食べるという機会が無かったので、日常的な会話なんかを含め、色々な面でお弁当を食べることが好きです。

金谷：私は部活動です。実はテニス部で、浅岡さんとは同じ部活に所属しています。部活動の先生がおもしろいし、稚内高校では部活の種類が多くて、そこで同じ共通の趣味を持つ人と出会えるので、仲間との交流が1番楽しいなと思います。

和田：学校祭です。中学の時の学校祭に比べて、スケールがかなり大きくなりまして、北門神社祭なみのお祭り感が出ていて、個人的にはすごく楽しかったです。

堤：金谷さんと浅岡さんは学校祭どうだった？

浅岡：学校祭とても楽しかったです。特に自由発表なんかはこんな盛り上がるとは思ってもなかったの  
で、すごく楽しかったです。

金谷：発表以外にも、学級による出し物みたいなものもあり、そういうパレードみたいなのが稚高にはあ  
たりするので、学校祭の目玉でもあるのですごく楽しかったです。

堤：稚内高校の勉強はどうか？

金谷：普通科は中学校時代に学んだ5教科の内容を深めているので、難しい部分もあるんですけど、その中で一番驚いたのが、英語と国語と数学が2科目ずつ分かれていて、国語であれば現代文と古典で2科目学ぶという感じになっていて、2時間連続で国語の科目が入ってくることもあるのでそういった面では勉強は大変だなと感じています。

堤：普通科の勉強で楽しい教科はある？

金谷：私は数学が得意なので、数学の勉強が一番楽しいなと感じます。

堤：和田さんと浅岡さんは勉強の方はどうですか？

和田：商業科は、普通教科の国数社理英が他の学科と比べてゆっくり学べるということがあって、誰でも勉強は始めやすく、比較的やさしめな難易度になっていると思います。また、商業科目ではパソコンや電卓を扱ったりしているので、頭で覚えるより、体で覚えると言った、実技的なところもありますね。

浅岡：看護科は、看護師になるという目標を皆持っていて、その中で体の構造について学んだりだとか、患者さんにどう接したら良いのかとか具体的な勉強を沢山していて、看護科ならではのな～と今になって感じています。



堤：看護の授業で一番楽しい科目は何ですか？

浅岡：解剖生理学という科目で、人体の構造について学んだりだとか、心臓はどういう機能があって、どんな作りをしているのかとか、自分たちが生きていることに直結することを学んでいるから、日常に生かしたりできるので、解剖生理学は楽しいです。

堤：和田さんは商業の授業で一番得意な科目は？

和田：僕は簿記が一番得意です！

堤：それぞれの科に入学しようと思ったきっかけは？

和田：HPでカリキュラムを見たりとか、進路実績だったり就職実績だったり、実際に入学した人の話を聞いたりして、こんな科目があるんだと知ってから商業科に入ろうかなと思ったことが始まりでした。

金谷：普通科に入学しようと思ったきっかけは、将来の夢が、管理栄養士になりたいくて、それを叶える為には大学に進学したいという目標があります。また兄も普通科に入学していたこともあって普通科に入学しようと思いました。



**浅岡**：中学生の頃から看護師になりたいという夢があって、色々な大学や専門学校とかの進路がある中で、稚内高校は5年間でゆっくり看護について学びたいなと思ったので、稚内高校衛生看護科に入学しました。

**堤**：それぞれの科に入学して身についたことや学んだことは？

**浅岡**：自分の言いたいことを簡潔にまとめられる力です。

**堤**：衛生看護科だからこそ身についたもの？

**浅岡**：看護科ではレポートを書く機会が多くて、その時に長々書いても伝わらないし、短すぎても言いたいことは伝わらないので、自分の中でちゃんと言いたいことをまとめて、書き起こすという力が身についてきていると思います。

**堤**：金谷さんは入学して身についたことや学んだことはありますか？

**金谷**：中学の時と比べてコツコツと毎日勉強する習慣が身についたと思います。普通科では、ほぼ毎日小テストとかあるので、自然と勉強する習慣が身についたというのもあるし、勉強自体も難しいので、コツコツやっついていかないと定着しないというか、ついていけなくなってしまうという部分があります。



**堤**：毎日勉強する何かコツとかありますか？

**金谷**：毎日5分10分でもいいから勉強をする態勢を整えるということですかね。

**堤**：和田くんも同じように入学して身についたことや学んだことはありますか？どう？

**和田**：商業科の授業を通して、パソコンや電卓とか色々なことを学んだので、社会人に求められるスキルというのは確実に身についていると感じています。

**堤**：ずばり、稚内高校の良いところといえば？

**金谷**：普通科・商業科・看護科の3つの科があることです。

**浅岡**：イベントが楽しい！学祭とか体育祭とかクラス一丸となって盛り上がったりと、他学年との交流もあったりして、楽しいです。

**和田**：学びやすい環境があるということが稚高のいいところだと思います。

**堤**：中々3つの科があるところはない？

**金谷**：そうですね。特に衛生看護科はそんなに無いと思うので・・・



**堤**：例えば学びやすい環境とはどういうところで感じる？

**和田**：商業科寄りの話にはなりますが、パソコンの操作が苦手で放課後練習しなきゃなと思ったときにパソコン室を先生にお願いすれば使わせてくれるのを知って、それで放課後練習したりしていたのでそう思いました。他にもテスト期間が近くなったら、自習室も開放していますし、勉強で分からないところがあれば、先生にどんどん聞けば教えてくださいますし、放課後にも時間を設けてわざわざ教えてくださるので、本当に学びやすい環境だと思います。

**金谷**：ちなみにこの3人はよく自習室で勉強している中で・・・(笑)

**堤**：あ、そうなの！？なんかすごい仲良いんですね。でも他の科と勉強するのも良い刺激になるんじゃないですか？

**浅岡**：そうですね。周りの人と勉強すると競争心とかもあるので、刺激になっています。

**堤**：受験を控えている中学生の方々にアドバイスを！

**和田**：一般入試で受験する人は国数社理英の筆記試験をもちろん行わないといけないんですけど、その試験って、公立高校は全て共通なので、難易度がそれなりに高いという感じなので、冬休みは追い込みの時期だと思いますし、過去問をとにかくやるということを大切にされた方が良いと思います。

**浅岡**：今の時期は実テとか、テストが続いたりとか、特に面接練習とかで上手くいかないことがあると思うんですけど、急に振られてもしゃべる力が皆さんにはあると思うので、今沢山練習したらちゃんと本番で実力を発揮できると思うので、頑張ってください。あと看護科は、実習を行うときに、お団子をしなければいけないので、髪が長い方は、お団子ができるようになっておくと後々楽になると思います。(笑)

**堤**：知らなかったです。必ずお団子にしなければいけないの？

**浅岡**：お団子というか、髪をまとめて帽子の中に入れてなければいけないので・・・

**金谷**：受験も一般で受ける人と推薦で受ける人の2パターンあると思うんですけど、私は一般で受けたので、この時期は勉強しなければいけないと不安が大きくて、心も痛かったりという時期もあったんですけど、落ち着いて、体調を崩さないで、自分の力をどれだけ出せるかが、鍵になってくると思うので皆さんには頑張ってくださいと思っています。

**堤**：体調管理と落ち着いてのぞむということですね。

**堤**：最後に中学生の方々に熱いメッセージをいただきたいです。

**金谷**：高校では、学ぶことがとても多くて、もちろん普通科以外にも同じ事は言えるんですけど、高校に入ることがゴールではなくスタートだと思うので、個人的には勉強頑張ってほしいなと思いますし、基礎を中学校から学んで、今のうちから基礎固めとして勉強頑張ってほしいなと思います。この座談会が皆さんの役に立ってくればなと思います。受験する方頑張ってください！

**和田**：稚高はどの学科も頑張ろうと思っている人は全力でサポートしてくれる所だと思うので、来年稚高を受験される皆様がここに入学してくれることを本当に心から楽しみにしています。

**浅岡**：今の時期はテストが続いたり、面接練習では思うようにいかずにと辛いことがたくさんあると思うんですけど、それを乗り越えたら自信を持って本番臨めると思うので、あと少し頑張ってもらいたいです。あとは看護科という面で、勉強したことがないこと、新しいことに1歩踏み出すことになるので、不安なことも多いと思うんですけども、先生も優しく教えてくれますし、周りの人と協力して頑張れるので、安心して入ってきてほしいなと思います。



とても元気でフレッシュな3人で、座談会も楽しそうにしている姿が印象的でした。素直にハキハキと答えてくれる3人はこれから入ってくる中学生の良いお手本となってくれと感じました。座談会のご協力本当にありがとうございました。

～最後に～

今回「特別企画・在校生に聞いてみた」を行おうと思ったきっかけが、新たにこの後入ってくる入学生に向けて、少しでも稚高の事を知ってもらおうと思ったこと、またこんなに良い先輩達が皆さんの入学を待っているよということを、ぜひ受験生に知ってほしいと思い、この企画を行いました。稚高の受験を考えている人、このインタビューや座談会の内容を見ていただき、入学を考えるきっかけにしてくれれば幸いです。

改めて、インタビューと座談会を引き受けてくださった在校生の皆さん、ありがとうございました。

文責 HP担当 堤 陵太